

<13>

子ども達が楽しみにしていた校外学習が終わりました。この1週間は、刻々と変わる天気予報に翻弄されて過ごす毎日でしたが、雨に降られることなく、無事に終えることができました。

広見地区では、「子育てけんこうプラザ マーノ」を見学しました。思った以上に大きな建物であること、たくさんの部屋があることに驚いていました。特に児童センターの中にある「遊戯室」（クライミングウォールがあります。）に興味をもった子が多く、「お休みの日に来たい。」と言っていました。ここで感心したのは、マーノの職員の方に案内してもらいながら、進んで質問をしていたことです。実は、最後に“質問タイム”を予定していたのですが、気付いたら勝手に質問タイムが始まっていました。子ども達の「知りたい」という好奇心と、自分から聞くことのできるたくましが素敵でした。



春里地区では、地区センターの周りを散策しました。広見地区とは違い、田畑が多いことに気付きました。しかし、一番盛り上がったのは、ヘビを見つけたことです。（まったく、もう…。）

広見地区でも春里地区でも、クラスごとに2列になって歩きました。これまで学校では、なかなか上手に歩けず、広がって歩いたり、前の子と離れてしまったりという姿が見られました。しかし、今回の校外学習では、大きく広がることなく、上手に歩くことができました。さらに、せまい道では、子ども達から「ここは1列で歩くよ。」という声がかかることもあり、「成長しているな。」と嬉しく思いました。

<14>



ぎふワールド・ローズガーデンでは、楽しみにしていたお弁当タイム。活動が一つ終わるごとに、「お弁当食べたいな。」「お弁当まだかな。」と言っていた子ども達にとって、待ちに待った時間でした。1組は班ごとに、2組はクラスで円になってお弁当を食べました。「見て見て。」と、おうちの人に作ってもらった自慢のお弁当をどうしても見てもらいたい子ども達。「先生、一緒に食べよ。」「先生、こっちだよ。」と誘ってくれる子ども達。まだまだ3年生。かわいい光景でした。お弁当の準備、ありがとうございました。

<15>

最後に課題も。お弁当を食べた後は、班行動です。どこをどのように回るのか、子ども達同士で決めました。「班がバラバラになるのはダメ。」と約束しましたが、やはりトラブルは起きました。始まって早々に、「先生、〇〇さんがいません。」「△△さんが□□さんと先に行っちゃいました。」と、報告が相次ぎました。何度も同じ道を行ったり来たりして、いなくなってしまった友達を一生懸命探した班もありました。（「見つかりません…。」と、走り回った後の真っ赤な顔で悲しそうに報告する友達の姿を、見てほしいものです。）小集団での行動の仕方考えるときには、自分のことだけでなく、友達のこと考えなければなりません。今後の学校生活の中でも、いろいろな場面で班行動を体験します。自分の気持ちややりたいことを優先するばかりでなく、友達のことでも気遣える一人一人に成長してほしいと願っています。